

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 ぎふ清流福祉エリア連携会議開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内 2617)

E-mail: [c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 699 千円 (前年度予算額：675 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	675	0	0	0	0	0	0	0	675
要求額	699	0	0	0	0	0	0	0	699
決定額	699	0	0	0	0	0	0	0	699

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 県では、岐阜市早田、鷺山、則武地区の一部において、障がい者総合相談センター、希望が丘こども医療福祉センター、福祉友愛プール、福祉友愛アリーナなど、障がい者のための福祉、医療、教育、文化芸術、スポーツ及び就労施設を一体的な整備を進めている。この地域を「ぎふ清流福祉エリア」と名付け、このエリアを拠点として、障がい者支援を展開していくこととしており、これらの施設を有機的に連携・機能させるため、施設入居団体や外部有識者を交えた会議を開催し、人材育成や施設間でのネットワークの構築などソフト面での連携強化を行う。

また、シンボルマークの活用を担保するため令和2年度に行った商標登録申請について、特許庁から連絡があり次第、登録業務を行う。

#### (2) 事業内容

事業費 75 千円

エリアパンフレット作製費 353 千円

シンボルマーク商標登録業務委託事業費 271 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	11	報償費
旅費	55	旅費
需用費	359	消耗品費、会議費、印刷製本費
役務費	3	郵送代、電話代
委託料	271	シンボルマーク商標登録業務委託事業費
合計	699	

**決定額の考え方**

4 参考事項

無

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「ぎふ清流福祉エリア」に整備される県立障がい福祉関係施設について、今後の施設のあり方や機能、役割及び施設間の連携方法等に関し、外部の有識者を交えた検討を行います。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
検討会議の開催数	0 (H25)	2 (H30)	2 (H31)	2 (H02)	2 (R03)	100%
シンボルマーク商標登録	0 (R01)	/	/	1 (R02)	1 (R03)	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

新型コロナウイルスの影響で令和2年度第1回会議を9月に書面開催し、令和2年2月に第2回会議を開催予定。  
エリアのシンボルマークの商標登録を出願。

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

令和2年7月にぎふ木遊館が完成し、エリアの全10施設の整備が完了した。

施設間の連携強化に関する協議の他、交通アクセスや駐車場、セアカゴケグモ問題など、「ぎふ清流福祉エリア」全体の課題解決に向けた意見交換を行うとともに、連携強化を図った。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	「ぎふ清流福祉エリア」における県立障がい福祉関係施設の整備について、今後の施設のあり方、機能及び役割等に関し、関係者を交えた検討を行うため、本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	障がい者総合相談センター、希望が丘子ども医療福祉センター及び岐阜県福祉友愛プールをはじめとした施設における連携や、今後整備を進めていく施設との連携について検討していくために有効な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	県有施設内において、意見交換を実施することで、効率化を図る。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>「ぎふ清流福祉エリア」が、福祉・医療・教育・文化芸術、スポーツ及び就労を通じた県の障がい者支援施策の拠点となるよう、関係課と連携しながら、整備及び連携体制を検討する。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>関係団体の長等の意見を反映させた効果的な連携体制を図る。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	